

## 令和7年度第1回七尾市戦略的復興プラン等推進委員会 議事録

日 時	令和7年5月28日（水）午後2時00分～午後3時12分
場 所	七尾市役所 2階 201会議室
出席者	【委員】出席14名（欠席1名） 【七尾市】事務局及び担当部長【委員】
委員会における議事内容（質疑応答・意見等）	
委員長	1 開会 ・委員長あいさつ
事務局	2 議事 (1) 副委員長の選任について (委員の互選により、副委員長に川淵委員を選出。)
委員長	(2) 第2期七尾版総合戦略の検証について 第2期七尾版総合戦略の検証について事務局から説明を願う。
委員長	(資料「第2期七尾市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証資料」により説明) －質疑・意見－ 第2期の検証について、何か質問はあるか。
委員	1件確認であるが、ここに記載ある活動実績は、七尾市役所が取り組んでいることだけでなく、七尾市全体で取り組んでいることを記載した活動実績という解釈でよろしいか。
事務局	ご指摘のとおりである。
委員長	他にないようであれば次の議題に進む。
委員長	(3) 復旧・復興の進捗状況及び今後のスケジュールについて 復旧・復興の進捗状況及び今後のスケジュールについて事務局から説明を願う。

事務局	(資料「七尾市復旧・復興の進捗状況等に関する資料」により説明)
	－質疑・意見－
委員長	ただ今の説明に関して、何か質問はあるか。
委員	解体や復旧状況を主に報告いただいたが、1点だけ確認させていただきたい。地域の中では罹災証明の判定が終わっている状況の中で、地域のお年寄りの方で、そういう申請を全くできていない方、地域外や県外にいて、申請ができなかった方が私の地域内に数件ある。お年寄りの一人暮らしの方に市として申請をサポートするようなことは考えていないのか。
担当部長	罹災証明書の申請の件で回答させていただきますが、基本的には本年の3月31日をもって申請を締め切っている。どうしても申請期間に、やむを得ない事情があるというふうに判断したものについては、少し柔軟な対応をしていくことを考えている。
委員	それについては理解している。私の近所のおばあさんが手続きできないという話を聞く。市役所として、そういう方がどれくらいいるのか調査をしているのか。高齢者は手続きで困っている人が多いと思う。
担当部長	現時点で調査をすることは考えていない。
委員	やらないという考えでよいか。
担当部長	現時点で調査や地域を回ることは考えていない。
委員長	本当に被災者の生活支援という形で、それに寄り添った形で考えた場合、例えば町会長など地域の代表の方が相談に来れば、対応していただけるのか。
担当部長	対応させていただく。
委員	先ほどの質問と重複するが、被災者再建支援金や応急修理制度があるが、応急修理制度の申請期限が12月末であり、先ほどの資料に周知徹底と記載があったが、どのように行うのか。
担当部長	被災程度の件数はこちらで把握できており、その被災程度によつての申請状況も把握できる。まだ相当数の未申請の方がおられるのでいずれかのタイミングで全体周知の結果を見て、その期限の取り扱いについて検討していくという状況である。

委員	延長の余地はあるのか。
担当部長	ここで明確なことを申し上げらないが、申請の権利を持っている方が申請できないのは、何かしらの事情があると考えているので、いずれかのタイミングで、取り扱いをどうするかを決めていきたいと考えている。
委員	今ほどの話でもあったが、私も以前に申請したが、準半壊や一部損壊の対象の制度が広報とかには載っているが、自分がどれを申請していいのかわからない。自分で探して申請するのではなく、半壊の世帯ならこれができるというようなお知らせを送ったりできないか。
担当部長	ご意見として承りたい。市としては、被災者生活再建支援法というパッケージがあり、その中で被災区分とそれに対する支援策があり、個々の状況に応じた対応をパトリアの総合窓口で行っている。総合窓口の受付では、例えば罹災証明を持参いただくと、家族構成等を確認して、対象となる制度の窓口をご案内している。手続き等がわからない方がいれば、総合窓口をご案内いただきたい。
委員長	パトリア窓口はいつごろまで開設予定なのか。今の状況を聞くと、もう少し相談窓口をパトリアに設置しなければと思う。
担当部長	義援金窓口については、支給が進んでので、パトリア3階の福祉課窓口に戻したが、公費解体や被災者生活再建支援金など申請期限まで期間があるものについては、当面の間は閉鎖することを考えていない。
副委員長	インフラの復旧の中で道路の災害復旧について確認したい。例えば歩道とか通学路、これもこの道路の中に含んでいるのかどうか。資料に記載している査定完了212件という数字は、七尾市として修繕する道路の部分だけなのか。県道、国道すべて入っての数字なのかを確認したい。
担当部長	歩道にいても、市道の一部として、復旧工事の中に入っている。212件については七尾市が施工する市道の災害査定の件数である。
委員	少し前に戻ってしまうが、一つの要望として伝えたい。私もそうだったが、大規模半壊で解体してそのあと、市から解体の完了通知が来たが1枚の紙だけであった。これを見ると、申請の全てが終わったと思う方がいたのではないかと。例えば、その後に法務局に行って、登記を滅失するっていう手続きが

委員長	<p>必要だが、わからない方が多い。もう少し寄り添った形で、実際に、解体した後、どういう手続きをしたらいいのか、わかるように対応いただきたい。</p>
委員	<p>この要望について、担当部で検討いただきたい。</p> <p>年間スケジュールの方で教えていただきたい点がある。復興プラン推進と都市マス、立地適正化の間に、地域の復興計画の作成ということで地域が独自で作成するものとして記載がある。都市マスの方に、地域との調整した意見を把握するということがコミセン単位の15地区の記載があると思うが、これは連動したものになるのか。おそらく、先ほどの復旧状況を見ると、コミュニティセンターは令和8年度以降じゃないと、建物は直らない。すべてできるのか。この活動費はふるさと創生ゆめ基金の事業を予算として充てることできるとあるが、それぞれの地域が計画立ててできたところからやっていくのか。</p>
事務局	<p>5月20日から意見交換という形で15地区の方を回らせていただいている。そこでは地区別復興構想というものを七尾市が作る計画ということで、最終的にはその事業項目を整理していく中で市の復興アクションプランにつなげていきたいと考えている。一方でその地の地区別復興構想を見ていく中で、地域の方でも地区が取り組む事業としてこういうことをやりたいという思いがあると考えている。そういった地域独自で取り組んでいく事業というものを取りまとめて、地域での復興計画を策定するのであれば、このゆめ基金というものを活用していただきたいと考えている。</p>
委員	<p>震災の前からの課題でもあるが、私自身が移住してきた経験からやはり七尾に移住したいと思っても、住める土地を探したり、空き家を探すのがすごく難しいというのがある。その中で、空き家バンクの情報というのは、1つ貴重な情報元ではある。震災後に私の知人が今住んでいたところが住めなくなり、空き家バンクとかの情報を探したが、残念ながら七尾市内で見つけられなく、隣の自治体に移ってしまった方がいた。震災関係なく、今も移住してきたいって人もいたり、あと震災がきっかけでボランティアに来てそのまま移住している方が能登の他地域で住んでいるというニュースも聞いた。そういった方を何とか取りこぼさないことがすごく大事だと思う。今はなか</p>

	<p>なか空いてる家や土地を探すのは難しいと思うが、先ほど意見交換会を各地区で行っていくということを知ったので、その場で空き家バンクの周知を行い、移住促進のためにできることをしていただきたい。</p>
委員長	<p>このあたり、市の方でまた検討いただきたい。</p>
委員	<p>スポーツ施設の復旧状況についてですが、ここに記載されていないスポーツ施設で、窓ガラスが割れていて、木の板を張っているような状況の体育館などがあるのですが、そういったところも今後復旧していく予定はあるのか。私が住んでいる中島町体育館の件であるが、このような寒い中でも、子供たちが、バスケとかバドミントンをやっているの、気になった。</p>
担当部長	<p>ここに記載してない中島体育館については、ご存じのとおり、ベニヤ等でガラスが割れたところを応急的に修繕している。現在は、練習程度なら使える状況であるが、今後、ここも修繕はしていく予定である。</p>
委員長	<p>他にご意見ありますか。</p> <p>次回の2回目の委員会時には、各プロジェクトの進捗状況や新たなアクションプランとかが提示されると聞いている。これらを市民の方に情報公開という形で、ホームページ等に掲載するという理解で良いか。</p>
事務局	<p>はい。そのとおりである。</p>
委員長	<p>本日の会議はこれにて終了とする。会議の進行にご協力いただき感謝する。</p>
	<p>3. 閉会</p> <p>—終了—</p>